

# 2 名古屋港

7月24日(水) 晴れ 34℃

## (1) 概要

開会式は、午前9時から、名古屋港湾会館2階第1会議室において、87名の参加を得て開催された。

冒頭、系井東海総支部長、笹田団長の挨拶、巡視団員の紹介があり、木原愛知労働局長の来賓挨拶、その後、来賓、名古屋支部の代表者の方々の紹介の後、北川船内部会委員の発声により全員で「ゼロ災でいこう ヨシ！」の指差唱和を行い、名古屋港の巡視に出発した。

木原愛知労働局長、西田愛知労働局労働基準部安全課長、桑原名古屋南労働基準監督署長はじめ愛知労働局・労働基準監督署の幹部の方々も巡視に同行され、ご指導をいただいた。

巡視後の結果発表等会議では、名古屋港運協会の後藤会長の挨拶に続き、前田東海総支部駐在安全管理員から名古屋港における安全衛生活動状況の説明について説明がなされた後、督励巡視結果の発表討議が行われた。発表討議後、巡視に同行された桑原名古屋南労働基準監督署長及び西田愛知労働局安全課長から講評指導が行われ、笹田団長の総括とお礼の挨拶、最後に、伊藤名古屋支部長の挨拶があり、名古屋港における督励巡視を終了した。

## (2) 巡視結果

### ① 船内班

場所：名古屋ユナイテッドコンテナターミナル  
本船：SITC BUSAN  
作業：コンテナ揚げ（250本）



巡視場所全景



巡視前に全員で指差唱和

### ① 良かった点

- ア デッキ上の作業責任者が、赤い腕章を付けて区別されていること。
- イ ガントリークレーン下の玉掛者の指差呼称による安全確認が良好であること。
- ウ ガントリークレーン下近くに置かれていたフォークリフトにはしっかり歯止めがなされているほか、ギアボックスや資材箱に対しカラーコーンで注意喚起がなされていること。



赤い腕章を付けている作業責任者



歯止めがなされているフォークリフト

### ② 指摘事項及び改善事項 ( → 回答)

ア 本船沖側のデッキ通路上に、コンテナのラッシング材(ターンバックル)が約 1.5 mの高さまで垂れ下がっているため、通路を歩行する際、接触する可能性があること。

➡ 今後、このようなことがないようにしっかりと固定する。

なお、本船によっては、物理的に固定ができないこともあるので、その場合はピンクリボンテープなどにより対応する。

イ KYボード横に、過去の作業時のKYボードの一部が貼られており、紛らわしいこと。

➡ 早急に撤去し、今後、このようなことがないように指導する。



過去の作業時のKYボード

### ③ 質問事項 ( → 回答)

本船上やガントリークレーン下など熱中症対策が見当たらなかったが、熱中症対策として、どのようなことを行っているか？

- ➔ エプロン近くの休憩所に、熱中症対策キットを配備している。  
作業員には、適宜、塩飴や飲料水を持たせ、水分補給をするよう指導している。

場所：名古屋ユナイテッドコンテナターミナル  
本船：GREEN HOPE  
作業：コンテナ揚げ（122本）

### ① 良かった点

- ア 喫煙場所の設営や熱中症対策の場所が、明確に表示されていること。
- イ ギャングウェイ下のキャップタイヤ溝に、転倒防止の措置がなされていること。
- ウ 工具箱に、過去の事故事例等を踏まえて、設置方法が写真で分かりやすく表示されていること。



喫煙場所の設営の表示



工具箱設置方法の表示

- エ ガントリークレーン下の合図者が、メリハリのある動きで指差呼称を行っていること。
- オ 合図者が、4人で同時無線を使用していること。

### ② 指摘事項及び改善事項

特になし。

### ③ 質問事項（➔ 回答）

デッキ上両サイドの狭い場所で、ラッシング、アンラッシング作業を行う場合、どのような安全対策を講じているか？

- ➔ 安全帯のフックがかけられる場所では、安全帯を使用して作業をさせている。  
なお、フックがかけられない、親綱が張れない場所では、注意して作業させるしかない状況である。

このことについては、デッキ両サイドの1段目、2段目に積むコンテナは8：

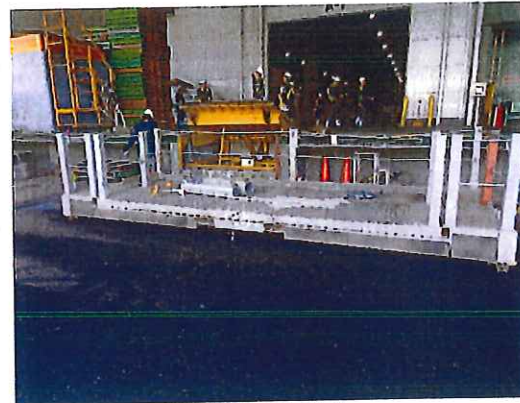
6のコンテナを積むようにしてもらい、デッキ両サイドの開口部をふさぐようにして足場を広げてもらうなどの申入れを船社側に伝えている。

## ② 沿岸班

場所：名古屋港国際総合流通センター



巡視前に全員で指差唱和



巡視する団員

## ① 良かった点

(全体)

安全掲示物、服装、熱中症対策、フォークリフト四原則、地切り表示が良好であること。掲示物の中で、A社の顔写真付き「私たちの安全宣言」、B社の過去の災害に関する対策横展開事例（12件）は、特に良好。



私たちの安全宣言



過去の災害に関する対策横展開事例

(A社)

熱中症対策とともに担架を用意していること。

歩行帯に可動式の一旦停止バーを設置していること。

(A社・C社・D社)

コンテナ作業中及び作業終了の表示が良好であること。

(A社・D社)

コンテナ作業時に、大型のスポットクーラーを使用していること。



いす型の担架



可動式の一旦停止バー



コンテナ作業終了の表示



コンテナ作業中の表示



大型スポットクーラー

(A社・D社・E社)

指差の声出しが良好であること。

(C社)

緊急連絡網が整備されていること。

(C社・D社)

道具類を一か所にまとめ、分かりやすく表示、整理されていること。

(E社)

フレコンのフォーク作業時、アタッチメント取り付け、適切な道具の使用が良好であること。

## ② 指摘事項及び改善事項 ( → 回答)

(B社)

止まれ表示が黒ずみ、見えにくいこと。

歩行帯にコードがあるので、目張りが必要であること。

(B社・F社・G社)

歩行帯に、貨物が置いてあること。

(D社)

通行帯の表示が薄いこと。



黒ずんだ止まれ表示



貨物が置かれた歩行帯



表示が薄くなった通行帯

(D社・E社)

指差はできていたが、荷から目を離すのが早いこと。

(F社)

オム二下など清掃が行き届いていないこと。

非常ベルの前に、使用済みストレッチフィルムなどのゴミが置かれていること。

➡ いずれも、早急に改善する。

### ③ 質問事項 ( ➡ 回答)

(E社)

フレコンバッグのトラック積み降ろし作業は、降雨時、どのように行うのか？

➡ 片方ずつ積み込むこととしている。

(F社)

空パレットが34段になっていたが、指定の段数はあるか？

➡ 30段と決めているので、早急に改善する。



34段積まれた空パレット

- 開 会 式 -



挨拶をされる系井東海総支部長



挨拶をされる木原愛知労働局長



名古屋支部北川船内部会委員の発声による指差唱和



挨拶をされる笹田団長

- 督励巡視結果発表等会議 -



挨拶をされる名古屋港運協会後藤会長



巡視結果の発表等を行う松本団員・尾朝団員



講評をされる西田愛知労働局安全課長



閉会の挨拶をされる伊藤名古屋支部長

# 3 神戸港

7月25日(木) くもりのち晴れ 32℃

## (1) 概要

開会式は、午前9時から、神戸ポートオアシス5階会議室において、136名の参加を得て開催された。

冒頭、福島兵庫県副総支部長、笹田団長の挨拶、巡視団員の紹介があり、畑中兵庫労働局長及び河西神戸運輸監理部海事振興部貨物・港運課長の来賓挨拶、その後、兵庫県総支部及び神戸支部の代表者の方々の紹介の後、上田兵庫県総支部事務局主管者の発声により全員で「ゼロ災でいこう ヨシ！」の指差唱和を行い、神戸港の巡視に出発した。

畑中兵庫労働局長、妹尾兵庫労働局労働基準部安全課長、港湾所轄の各労働基準監督署長はじめ兵庫労働局・労働基準監督署の幹部の方々も巡視に同行され、ご指導をいただいた。

巡視後の結果発表等会議では、上田事務局主管者から神戸港における安全衛生活動状況の説明がなされた後、督励巡視結果の発表討議が行われた。発表討議後、巡視に同行された妹尾兵庫労働局労働基準部安全課長から講評指導が行われ、笹田団長の総括とお礼の挨拶、最後に、松永神戸支部長の挨拶があり、神戸港における督励巡視を終了した。

## (2) 巡視結果

### ① 船内班

場所：摩耶埠頭E岸壁

本船：グローバル コマ（在来船）

作業：上屋よりロッドワイヤの積込み



巡視前に全員で指差唱和



積込み作業



## ① 良かった点

ア ギャングウェイ乗降口のカラーコーンによる表示, KYボード, 立ち入り禁止措置, 救命浮環が良好であること。

イ ホールド内への昇降口に, 転落防止のセーフティブロック設置されていること。



ギャングウェイ乗降口付近



ホールド内への昇降口

ウ 本船デッキ上の立入禁止箇所にはトラテープ, 突起物にはピンクテープによって分かりやすく注意喚起がなされていること。



立入禁止箇所の表示



注意喚起のピンクテープ

エ 船側では玉掛業者及び検数員の退避場所が明確に確保され, 玉掛け後, 確実に退避していること。

オ 熱中症対策として, 船側の退避場所と本船デッキ通路に, スポットクーラー, 瞬間冷却剤の入った保冷バック, 給水器などが備えられていること。



退避場所に退避している作業員



船側の退避場所のスポットクーラーなど

カ デッキマンが指差呼称で確認し合図を行っており、玉掛作業者との連携が良好であること。

キ 貨物に対して、輪止めをしっかりと行っていること。

## ② 指摘事項及び改善事項（⇒ 回答）

ア ホールド内で、貨物の上に作業員が登っていたが、昇降設備が確認できなかったこと。

イ フォークリフト後方確認時、前方の貨物から目を離すのが早いこと。また、動きながらの指差呼称となっていること。

ウ 船側の作業で、玉掛けの際、玉掛作業者がカンザシの真下で玉掛けを行っていること。

エ 船側に貨物を持って来たフォークリフトが離れる前に、検数員がチェックに入っていること。

⇒ ア～エまでは、良かった点を含め、神戸港全体で水平展開をし、今後の安全活動につなげていきたい。

## ③ 質問事項（⇒ 回答）

ア 玉掛けの吊り具として、ワイヤではなくロープを使用していたが、古く見えたため、点検はどのようなタイミングで行っているか？

⇒ 貨物を傷つけないように、ワイヤをロープで養生した専用吊り具である。

点検は、始業時実施しており、ワイヤのヨリや損傷があれば、早急に新しい物に交換している。

イ フックに、外れ止めが付いていないのは、なぜか？

⇒ 神戸港では、作業資材を共同で手配して借りている。

今後も、改善を要請していく。

ウ デッキクレーンのオペレーターの熱中症対策は、どのようにしているか？

⇒ 運転席には水分を持って上がるようにしている。

昼の休憩以外にも、午前、午後に休憩を設けて、水分や塩分の補給をするようにしている。

エ 作業前、船倉の酸素濃度を測定しているか？

⇒ 作業開始前、フォアマンの有資格者が計測している。

## ② 沿岸班

場所：新港突堤西地区



巡視前に全員で指差唱和



巡視場所

### ① 良かった点

- ア 挨拶と4Sが徹底されていること。
- イ フォークリフト5原則が徹底されていること。
- ウ フォークリフト運転者が進行方向に確実な指差呼称を行っていること。
- エ 清掃用具の定置定数がしっかりと管理されていること。



指差呼称を行うフォークリフト運転者



清掃用具置き場

オ 熱中症対策として、ドリンクのそばに、誰もが気兼ねなく飲めるよう紙コップを設置していること。

カ 職員がベルをぶら下げて歩行し、作業員に対し自分の存在を分かりやすくしていること。



水分の補給場所



ベルをぶら下げている職員

キ コンテナ出バンの作業員とリフトマンの合図の確認連携が確実に取れていること。

ク KYボード, 作業計画書, 熱中症警戒の表示を一か所にまとめ, 分かりやすく表示していること。

キ ひな壇積み付けのはい付けが良好であること。

## ② 指摘事項及び改善事項

特になし。

## ③ 質問事項 ( → 回答)

ア 自動ラップ巻き機を使用する際の注意事項は何か?

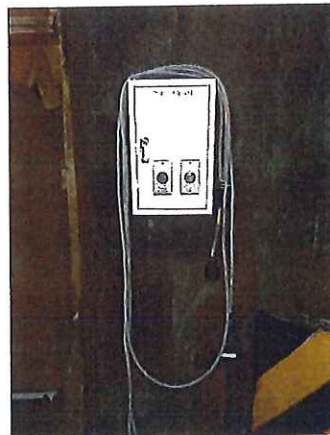
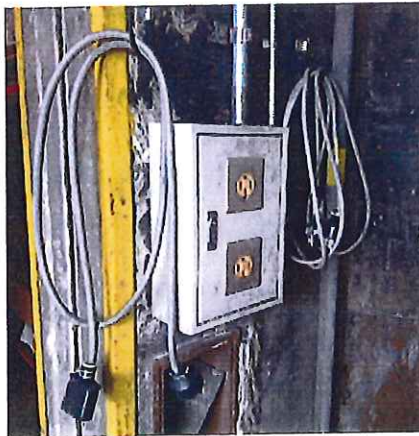
→ 周囲の安全確認を行う。

操作者の立ち位置を決め, ラップ巻き防止を行う。

非常時には, 操作盤の非常停止ボタンを押す。

イ 電気リフトの電源ケーブルの管理方法を統一したほうがいいのではないか (提案)

→ フックにかける形に統一する。



電源ケーブル付近

ウ 倉庫の出入口に, 停止線やカーブミラーを設置したほうがいいのではないか (提案)

→ 元請けと相談し, 設備投資を検討する。

## ③ 港湾技術研修センター視察

船内班及び沿岸班は巡視後, 神戸市中央区港島にある港湾技術研修センターを視察した。

－ 開 会 式 －



挨拶をされる福島兵庫県副総支部長



挨拶をされる畑中兵庫労働局長



団員の紹介



上田兵庫県総支部事務局主管者の発声による指差唱和

－ 督励巡視結果発表等会議 －



巡視結果（船内班）の発表をする住山団員



巡視結果（沿岸班）の発表をする野口団員



講評をされる妹尾兵庫労働局安全課長



閉会の挨拶をされる松永神戸支部長

# 4 博 多 港

7月26日(金) 天気 晴れ 34℃

## (1) 概要

開会式は、午前9時から、福岡サンパレス2階パレスルームにおいて88名の参加を得て開催された。

冒頭、野畑九州総支部長、笹田団長の挨拶、巡視団員の紹介があり、伊藤福岡労働局長の来賓挨拶、その後、来賓、博多支部の代表者の方々の紹介の後、林田安全衛生指導委員長の発声により全員で「ゼロ災でいこう ヨシ！」の指差唱和を行い、博多港の巡視に出發した。

伊藤福岡労働局長、小野福岡労働局労働基準部安全課長、港湾所轄の各労働基準監督署長はじめ福岡労働局・労働基準監督署の幹部の方々、阿部九州運輸局海事振興部港運課長も巡視に同行され、ご指導をいただいた。

巡視後の結果発表等会議では、博多支部古賀事務局主管者から博多港における安全衛生活動状況の説明がなされた後、督励巡視結果の発表討議が行われた。発表討議後、巡視に同行された小野福岡労働局労働基準部安全課長から講評指導が行われ、笹田団長の総括とお礼の挨拶、最後に、渡辺博多副支部長の挨拶があり、博多港における督励巡視を終了した。

## (2) 巡視結果

### ① 船内班

場所：箱崎埠頭7岸

本船：さんふらわあ とうきょう (内航 RO-RO 船)

作業：乗用車の揚げ



巡視に向かう団員



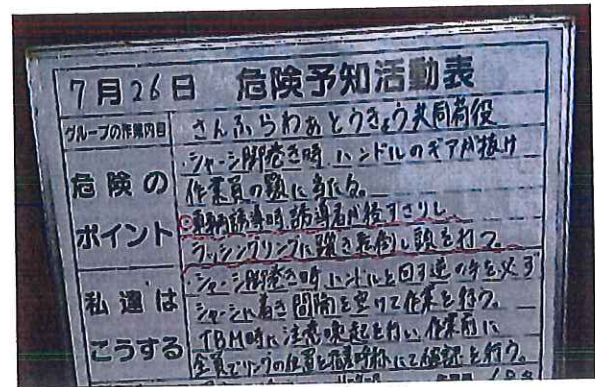
船内の模様

## ① 良かった点

- ア コンテナを活用した休憩所に、KYボードや緊急連絡網の表示、救急箱のほか、熱中症対策として、給水器、クーラーボックスなどを設置していること。
- イ KYボードの重点項目を分かりやすく赤字で◎と下線引きで表示し、注意を喚起していること。



コンテナを活用した休憩所



KYボード

- ウ 運転者が乗車前に車両周りの一回点検を実施し、走行時の車間距離も良好であること。
- エ 指揮者の指示に従って、作業員が作業していること。

## ② 指摘事項及び改善事項 ( → 回答)

- ア 昇降設備のハッチの開口部が開いたままになっていたが、転落防止などの措置や注意喚起がされてなかったこと。

→ 昇降設備のハッチの開口部に、リボン等を取り付け、注意喚起させる。



ハッチの開口部付近

- イ 安全掲示板に、一部横書きの物が縦向きに貼り付けられていること。
- 横書きを縦書きにするように指導する。

## ③ 質問事項 ( → 回答)

- ア 岸壁に駐車中の作業員送迎車の輪止めの位置がバラバラだったが、取決めはあるか？
- 統一されていなかったもので、右前輪に統一する。

イ 揚げ車両の発進時に誘導者がいなかったが、発進の順番の取決めはあるか？

➔ 揚げ車両は、後進の場合に誘導者を配置している。

今回は前進での発進であり、発進前に順番を定めているため、誘導者は付けていない。

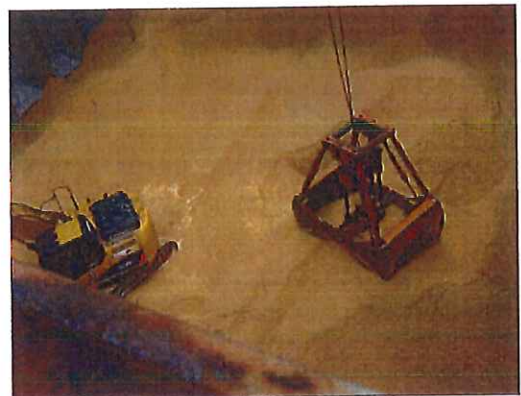
場所：箱崎埠頭 1 2 岸

本船：UNI WEALTH

作業：バケットクレーンでの原糖（バラ物）の揚げ



乗船する団員



船内の模様

### ① 良かった点

ア デッキマンが、しっかりと昇降台を固縛した上で安全带も取り付けて合図を行っていること。

イ 本船デッキ通路の関係者以外立入禁止の表示が良好であること。

ウ 荷役機械の作業計画及び危険予知について、安全掲示板で作業員に周知していること。



デッキマン

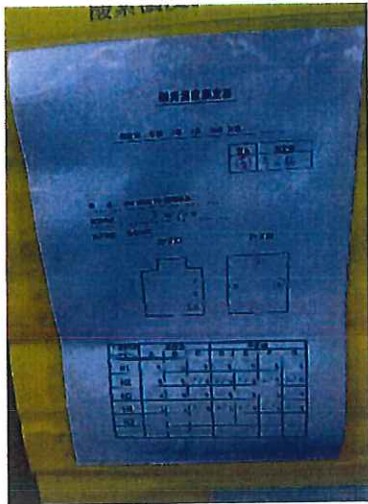


安全掲示板

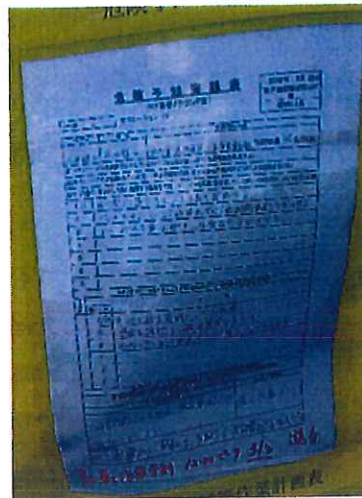
エ 各ハッチ4か所において、酸素濃度を測定し表示していること。

オ 危険予知実践表で、暑さ指数予測を赤字で明示し、注意を喚起していること。





酸素濃度測定表危険



予知実践表

② 指摘事項及び改善事項 ( → 回答)

ア バケットとワイヤをつなぐシャックルに外れ止めがなかったこと。

➡ 番線等を用いて外れ止めを防止する。

日々の作業開始前点検でもチェックしていく。

イ パイロット乗船口が、開いたままになっていたこと。

➡ 本船施設のため、本船に対し改善を申し入れる。

ステベ側においても、乗船口が閉まっているか再確認する。

③ 質問事項 ( → 回答)

ギャングウェイの乗降口に段差があるので、足元注意などの注意喚起の表示があったほうがいいのか (提案)

➡ 注意喚起の表示をするとともに、ミーティング等にて危険箇所を周知する。



ギャングウェイ乗降口付近

## ② 沿岸班

場所：箱崎埠頭 アイランドシティ倉庫



巡視する団員

### ① 良かった点

(A社)

ア 墜落制止用器具（ハーネス型）、昇降台の設置等、トラック運転手用の安全対策が良好であること。



墜落制止用器具収納箱



昇降台

イ マイク、スピーカー、バック時のLEDライト、接近禁止表示等、フォークリフトの安全対策が良好であること。

ウ コンテナ作業用に照明が設置されていること。



フォークリフトに取り付けられているスピーカー



コンテナ作業用の照明

- エ フォークリフト運転手の指差呼称，声掛けが大変良好であること。
- オ 作業場所ごとに，KYボードを設置していること。

(B社)

- ア 消火器・消火栓の表示を高い位置に設置し，見やすくしていること。
- イ フォークリフト停車5原則のシールが工夫されていること。
- ウ AEDの設置場所が明確であること。



消火器・消火栓の表示    フォークリフトに貼付されている停車5原則のシール    AED

## ② 指摘事項及び改善事項 ( → 回答)

(A社)

- ア 消火栓の扉の前に，キャスター付きのゴミ箱が置かれていること。
  - ➔ 直ちに指定場所に移動させた。
- イ ほうき，ちり取りが壁に立てかけてあり，倒れる危険性があること。
  - ➔ 吊り下げ式に変更する。

(B社)

- 丸のこが，通行帯付近に放置されていること。
  - ➔ ラッシング作業に使用した。
  - 作業終了後，指定の場所に戻すよう指導を徹底する。

## ③ 質問事項 ( → 回答)

(A社)

- フォークリフト充電用の電源扉の固定方法を統一したほうがいいのではないかと(提案)
  - ➔ 扉の開閉方向を変更しても凸部は出るため，ゴムバンドでの固縛を徹底する。



フォークリフト充電用の電源扉

(B社)

ア 沿岸荷役主任者，作業主任者は，腕章を付けないのか？

➡ 作業開始前，服装をチェックでし，腕章着用を確認する。

イ 昇降台に，手すりを設置したほうがより安全ではないか（提案）

➡ 手すり付き昇降台の設置を検討する。

### ③ 香推パークポートコンテナターミナル視察

船内班及び沿岸班は巡視後，福岡市東区香椎浜ふ頭にある香推パークポートコンテナターミナルを視察した。

－ 開 会 式 －



全 景



挨拶をされる野畑九州総支部長



挨拶をされる伊藤福岡労働局長



博多支部林田安全衛生指導委員長の発声による指差唱和

－ 督励巡視結果発表等会議 －



巡視結果の等を行う佐々木団員・相羽団員



巡視結果に対するコメントを行う博多支部役員



講評をされる小野福岡労働局安全課長



閉会の挨拶をされる渡辺博多副支部長

#### IV 解団式（7月26日（金））

解団式は、博多港巡視結果発表等会議を終了した午後2時20分から福岡サンパレスにおいて行われた。

岩澤博多港安全衛生協議会会長の挨拶、笹田団長によるこの4日間の総括講評があり、次いで、当協会の白川業務・技術管理部長から藤木会長のメッセージを代読し、解団式を終了した。

その後、団員反省会及び意見交換会を行い、全日程を無事終了した。



挨拶をされる岩澤博多港安全衛生協議会会長



総括講評をされる笹田団長



メッセージを代読する白川部長

## 令和元年度主要港督励巡視解団式

### 藤木会長メッセージ

大変暑い中、4日間の主要港督励巡視を終えられ、誠にお疲れ様でした。

笹田団長を始め、団員の皆様のご活躍で立派な成果を取め、無事に終了されましたことに心から感謝申し上げます。

巡視結果発表等会議では、活発なご意見、ご質問やアドバイスがあったと聞き及んでいます。

お帰りになられましたら、今回の巡視で体得されました成果を各港での今後の労働災害防止活動に十分に活かし、港湾貨物運送事業における労働災害の撲滅に貢献されますことを期待いたします。

また、厚生労働省、各労働局の担当者の皆様におかれましては、各港において巡視にご同行の上、適切なご指導とご助言をいただいたことにも感謝したいと思います。

団員各位におかれましては、これからも厳しい暑さが続きますが、くれぐれも健康に留意してご活躍ください。

解団式に当たり督励巡視の成功を共に喜び、また、関係各位のご尽力に対し、改めて敬意と感謝の意を表しご挨拶といたします。

ありがとうございました。

令和元年7月26日

港湾貨物運送事業労働災害防止協会

会長 藤木 幸夫

V 団員写真 (全員, 博多港船内班・沿岸班の順。福岡サンパレスにて撮影)

